



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信

平成28年7月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.162



6月19日(日)に、高千穂町岩戸の「民宿 神楽の館」で、五ヶ村村おこしグループやむすびカフェ千人の蔵、島浦町漁業後継者部などが主催する延岡市島浦町と高千穂町との交流イベント”高千穂・島浦お魚まつり!”が開催されました。



◆島浦町からは若手漁業者や漁協女性部などが参加しました。



◆新鮮なシイラの切り身や海産物が特価で販売されました。



◆大漁旗が掲げられた会場の駐車場は県内外からの車で満車となりました。

当日の朝まで強い雨が降るあいにくの天気でしたが、イベント開始と同時に雨も上がり、会場は県内外から多くの来場者で賑わいました。先着限定300食の漁協女性部の「ふるまい」(鯛茶漬、島浦名物のあげみなど)や、子供釣りくじ(なんと一等は島浦町を渡し船で1周できるクルージング券)などで盛り上がりました。

～山と島との交流～

高千穂・島浦お魚まつり!



◆パエリアの調理指導を担当した渡邊先生は、串間市から来られました!



◆熊本地震の復興支援としてRQ九州が被災地の物産品などを販売。

同時開催された目玉企画「海幸山幸出逢いのパエリア」は、若い未婚男女が共同でパエリアを作り交流親睦を深めるイベントで、九州パエリア串間チーム代表の渡邊健太さんの指導で、直径70cmの本格パエリアが完成しました。これからも高千穂と島浦の交流は続いていくとのこと。今後の展開が楽しみです。



今年もライトアップが楽しめます!



高千穂峡では、7月16日(土)より夜間ライトアップも始まり、昼とは違った幻想的な滝などが楽しめます。好評の遊歩道への竹灯籠設置のほか、ライトで美しく照らし出される真名井の滝など、この夏休み中にぜひご鑑賞ください。◆ライトアップの期間は9月4日(日)までです。



◆18:00-22:00の時間帯でライトアップされます。

五ヶ瀬中学校・上野中学校で戦争体験を語り継ぐ講話！

戦後70年が経過し、戦争体験者の高齢化や減少が進み、戦争の記憶の風化が懸念されるため、戦争体験の継承を図り、平和の尊さを語り継ぐために、県では戦争体験者が小中学校を訪問し、子供たちに戦争体験を伝える取組みを行っています。



◆不幸で悲惨な戦争を繰り返してはならないと講話する宮本紀昭さん

6月1日（水）に五ヶ瀬町在住の宮本紀昭さんが五ヶ瀬中学校を、17日（金）には高千穂町在住の佐藤守さんが上野中学校（田原中学校と合同実施）を訪問し、自らの戦争体験を話されました。

戦時中の小中学生の暮らしや、父親の戦死による深い悲しみ、そして何よりも平和の大切さと戦争を繰り返してはいけないとの話に、生徒たちは真剣なまなざしで聞き入っていました。



第61回宮崎県乾しいたけ品評会開催！



6月2日（木）、宮崎市のMR T m i c cにおいて、61回目となる宮崎県乾しいたけ品評会が開催されました。西臼杵3町からは102点が出品され、「箱物・香菇」の部で五ヶ瀬町の甲斐和幸さんが林野庁長官賞を受賞するなど、多数の方が入賞しました。



◆甲斐和幸さんの入賞品



また、出品数や入賞数で競われる市町村単位の団体賞では、五ヶ瀬町が椎葉村に次ぎ第2位になりました。

管内の生産者の優れた技術に感心するとともに、今後の乾しいたけ生産に弾みの付く大会となりました。

中川登集落「アート米」田植えが行われました



6月18日（土）に、高千穂町の中川登集落協定の主催で、アート米の田植えが行われました。今年で6年目を迎えるこの取組みには、町内はもとより福岡からのツアー客等も加わり、総勢約80名が参加しました。

今年は、熊本震災復興応援をテーマに、高千穂町観光協会マスコットキャラクター「うずめちゃん」と「がんばろや九州はひとつ」のメッセージを、約30アールの田んぼにデザインしています。参加者からは、「久しぶりの手植えで楽しかった」「稲穂が成長した秋が楽しみ」などの感想がありました。

天岩戸神社に向かう県道緒方・高千穂線から見る事ができます。中川登地区を通る際は、是非ご覧ください。



◆田植え後の集合写真



※うずめちゃんの周りの旗は、右上「大分県旗」、右下「熊本県旗」、左上「宮崎県旗」、左下「高千穂町旗」となっています。



◆当日の田植えの様子

◆完成予想図





特派員が勝手に調査！西臼杵のグッドポイント

...特派員とは西臼杵支庁の若手職員による広報特殊部隊である...

「伝統工芸を未来へ繋ぐ～神楽面彫師～」



- 良い物は、一目見て良いと思う。100年先、200年先残っていく物はそういう物だ。 -

工藤省悟(29)さんは、高千穂町岩戸に工房を構える天岩戸木彫、その4代目神楽面彫師です。数ある伝統工芸は、後継者不足に悩まされていますが工藤さんは宮崎県内でも最年少の職人で、未来の伝統工芸を担っていく一人です。

幼い頃から父と祖父が営む神楽面の工房を見ていたので、自然と家業を手伝い、自身が職人になるのはそう不思議なことではありませんでした。

工藤さんはいわゆる「職人」のような気難しく口数の少ないタイプではありません。話好きで、柔らかい笑顔で場を和ませてくれる温かい人です。しかし、神楽面の話をする工藤さんの語り口は静かですが情熱に溢れています。

工藤さんの作る神楽面の中にも包容力、そして力強い生命力を感じます。

- 100年先も200年先もみんなに大切にしてもらえる。そういう物を作っていきたい。 -

そう話してくれた工藤さん。

そんな思いが伝統工芸を未来へ繋いでいく礎となっているのかもしれない。



◆素材は桐や楠が用いられています



◆100種類以上の「のみ」を使い分けて彫っています

天岩戸木彫

【住所】西臼杵郡高千穂町大字岩戸399番地

【電話】0982-74-8901



農業経営指導士の委嘱式が行われました！

5月27日(金)に県庁で、宮崎県農業経営指導士の委嘱式があり、県全体で97名の方が委嘱されました。

農業経営指導士とは、支庁の普及指導員と協力して、「儲かる農業」実現のために、若手農業者に対して生産方式の合理化や農業経営の改善に関する活動を行う方々になります。これまでの普及指導協力委員から農業経営指導士に変更になり、任期は平成30年度までの3年間です。

西臼杵地域では8名が委嘱され、地域農業の振興や担い手育成等の活動に取り組む計画です。



◆西臼杵地域の総会での集合写真



◆委嘱式の様子

■ 西臼杵地域の農業経営指導士 ■

高千穂町：興梶哲法氏、佐藤孝子氏
佐藤公也氏、内倉浩二氏
日之影町：甲斐幹男氏、甲斐敏江氏
五ヶ瀬町：宮崎 亮氏、甲斐美樹氏



知って感心 あなたも旅人 ～ 高千穂郷の旬感コラム ～

前回に引き続き、管内の知ってほしい、を紹介する特集第2弾!



西臼杵管内で、地域の活性化につながる取り組みを行う人やイベントにスポットをあて、特集で紹介する高千穂郷の旬感コラム。今月号は、高千穂町で農産品の加工販売や、農家カフェ「そよ風工房 風の道」の運営をされている地域の元気印、佐藤孝子さんを紹介します。



◆ 合同会社「あまてらすの娘たち」の代表として地域を引っ張る佐藤孝子さん

佐藤さんは、宮崎県でも数少ない米粉アドバイザーの1人で、今ほど米粉の活用が普及していなかった頃、米粉を使っておいしいパンやピザを作れることをみんなに知ってもらいたいと、高千穂でピザやパンを焼く体験もできる農家カフェをオープンさせました。もちろん体験はしないで各種ピザやロールケーキ、飲み物を上岩戸の風景を眺めながら楽しむこともできます。



◆ こだわりのとまとゲチャップは自然の味です!

現在は、新商品の開発とともに町内の他の加工グループと一緒に「T-キッチン」を立ち上げ、各グループ手作りの加工品を詰め合わせた「夏の手作りふるさと便」の販売も行い、地域を盛り上げていく上で欠かすことのできない存在となっています。見晴らしの良いカフェで過ごす時間は、孝子さんの朗らかな人柄と笑顔により心がほぐれ、美味しいパンやピザを食べてまさに幸せなひととき。



◆ T-キッチンのみなさん

高千穂にお立ち寄りの際には、孝子さんとの会話に癒やされてください。

体験には、6月20日より発売されている「みやざき農山漁村体験・宿泊券」の活用も可能とのこと。ほかでは楽しめない綺麗な黄金色のきんかんジャムとチーズのピザや、ピザ焼き体験を高千穂での良い思い出にしてみませんか。

ご贈答にもどうぞ! 夏の手づくりふるさと便

地域の加工品の良さを広く知ってもらうために、今年の”夏の手づくりふるさと便”は、高千穂郷椎葉山地域が世界農業遺産に登録されたことを記念した詰め合わせとしました。ふるさとの味をグッと凝縮しているのでオススメの商品。

今回の「ウリ」は、高千穂でお盆に食べる習慣のある郷土料理「ぼんだら」を缶詰にした商品(干したタラと干したけのこの煮物)です。米粉などの素材の活用方法もリーフレットが同封されます。

【注文先】: がまだせ市場 鬼八の蔵
【お問合せ先】: 0982-73-1831



*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

西臼杵支庁

検索



Facebookページ西臼杵支庁「ウキウキ! 好き好き! ニシウスキ!」更新中!

